

トライ★アングル

令和6年10月11日
八千代市立萱田南小学校
校長 越川多佳美
【校長室だよりNo.22】

学校教育目標：国際社会にはばたく南の子－夢と自信を育む－

「いのちの講座」がありました



10月9日(水)3年生と5年生では、習志野・鎌ヶ谷地区助産師会から、鶴岡先生、河添先生をお迎えして「いのちの講座」が行われました。おなかの赤ちゃんの成長では、赤ちゃんの人形を抱いて感想を話したり、代表の子の心音を聞いたり、陣痛体験(座って目を閉じ息止め20秒ほど)をしたりしました。子供たちは、初めて知ることが多く、じっと聞き入ったり、時には歓声を上げたりしました。

先生のお話の中の、「みんな、こんなにがんばって生まれてきたんだ

ね。いじめをしていい子はいないよね。だれも死んでもいい子はいないよね。」この言葉がとても心に残りました。世界中でたった一つの宝物～命～それは誰にとってもです。こんなたくさんの奇跡をめぐりぬけ、生まれてきたのですから、自分の命も、そして周りの人の命も同じように大切にしたいですね。

最後に参加された保護者の方に向けてのお話もありました。とても丁寧にわかりやすくお話をしてくださったそうです。



「教師の日」には・・・

10月5日は「教師の日」でした。ワールドティーチャーズデーは、ユネスコが1994年に制定した国際デーの一つです。教師に感謝する人定められている記念日であり、国によっては祝日として制定されているところもあります。本校では、前日の4日(金)に教師の日の取組を行いました。

萱田南小では、何かを教わって学んだり影響を受けたりした相手や、学校生活を行う上でお世話になった方々に感謝しようという心を育むために、計画しました。令和3年度は学校の先生が対象、令和4年度は、は学校の先生に限らず広く先生が対象、そして昨年度は地域の方も対象にし、お手紙を書くなど、思いを伝えました。そして、今年度は、もう一度、学校の先生に対象を戻しました。



「教師の日」には、0校時に、児童運営委員会の児童が作ったパワーポイントを見て、「教師の日」やこれから取り組むことについて知りました。そのあとに担任の先生と、もう1人の思いを伝えたい先生に宛てて手紙を書きました。子供たちの思いがそれぞれの学級担任の先生に届き、「涙が出るほどうれしい」と話していました。毎日顔を合わせているけれど、言葉にすることはなかなかできないと思います。

これからは、おうちの方や地域の方など、いつも何かを教わって学んだり、影響を受けたり、お世話になっている方々に、言葉にしてお礼ができるといいですね。